

環境省主催
令和2年度 自然資源を活かす
エコツーリズム・インタープリテーションの
人材育成支援事業
《インバウンド研修参加要項》

※本研修会は（公社）日本環境教育フォーラム（JEEF）と一般社団法人日本エコツーリズム協会（JES）が、環境省の受託により実施します。

本年度はオンラインで開催します。

研修期間：2020年6月25日（木）～7月3日（金）

目次

1. はじめに	2
2. 研修会のカリキュラムとスケジュール	3
3. 参加のための及び通信環境の設定	8
4. 参加申込について	8
5. 連絡先	8
6. 事前課題について	8

添付

（記入例）事前課題シート 3件
（記入用）事前課題シート 3部

1. はじめに

本研修は、国立公園満喫プロジェクト人材育成支援事業に過去参加した地域を対象として「インバウンドを受け入れるための準備が地域で始められるようになる」ことを目標として実施し、地域における外国人観光客の受け入れに向けた知識とプログラム作りの方法を学びます。

本研修は、当初、3日間の集合型での開催を検討してまいりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、集合での研修開催が難しい状況となりました。

そこで本年度は、「動画教材（YouTube）」による自習と、「オンライン会議システム（zoom）」を組み合わせ、オンラインで開催することとなりました。

研修の進め方の概要は以下の通りです。

1. 「自習期間」中に「動画教材（YouTube）」により自習を行います。
2. **「オンライン集合日」に「オンライン会議システム(zoom)」を使用して、発表や講義を行います。開催日は6月29日(月)と7月3日(金)です。この日は必ずご参加いただきます。**
なお、運営の都合上、各チームのメンバーは原則一つの場所に集合し、1台の機器でご参加いただきます。
3. インバウンド向けプログラムの作成に際し、講師と参加チームとの「個別カウンセリング」を行います（zoomを使用）。「個別カウンセリング期間」は7月1日（水）～7月2日（木）です。時間の調整は事務局を中心に進めさせていただきます。
4. 参加の対象は主に、昨年度、那須高原で開催した集合研修に参加された各チームが優先です。定員は8地域です。（定員に満たない場合は、過去の参加者が参加する可能性があります）

2. 研修会のカリキュラムとスケジュール

本研修の獲得目標

「インバウンドを受け入れるための準備が地域で始められるようになる」

上記の目標のため、この研修では以下を行います（カッコ内は対応する科目）

- ・ インバウンド向けガイドの実態を感じる
（ガイド現場の実際）
- ・ 外国人目線・特徴を学ぶ
（ガイド現場の実際、講義 1、6、9）
- ・ 外国人目線のプログラム作りの特徴を学び、演習する
（講義 6、7、8 実習 1、2、3）
- ・ 日本の自然の価値を学ぶ
（講義 4、5）
- ・ インバウンドのマーケティング、プロモーションの特徴を学ぶ
（講義 2、3、9）
- ・ インバウンドに特徴的なリスクマネジメントの観点を学ぶ
（講義 6）
- ・ 専門的にインバウンドの受け入れを行っていない事業者でも、対応できるということを知る
（講義 4）
- ・ 現在の世界の状況を踏まえた、旅行者の誘致戦略を知る
（講義 3）

自習期間（1） 6月25日（木）～28日（日）

所要時間	講義	内容	講師
0:30	開会式／オリエンテーション	主催者あいさつ・研修会全体の構成と実施方法の確認など	事務局
0:35	ガイド現場の実際	実際に外国人のお客様に対して行われるガイドの様子を見て、言葉のレベルや実際のやりとりを見てみる。	古屋絢子
0:30	講義1：外国人目線のコンテンツづくりについて	（受けること・受けないこと）についてプログラムの作り方、そのための地域との関係作り（地域でインバウンドを受け入れる際に大切なこと等）について	府川尚弘
0:30	講義2：地域における販促戦略	マーケティング、プロモーション、販売促進について	府川尚弘
0:30	講義3：現在の世界の状況を踏まえた、旅行者の誘致戦略を知る	国ごとのニーズの違い、現在のトレンド、日本政府としての戦略（グローバルキャンペーン、自然コンテンツの扱い）等	山崎道德
0:30	講義4：日本の価値を学ぶ-1 外国人向けガイドの実際事例紹介	日本の価値を学ぶ-1 世界における日本の自然、文化、食等の価値を解説／知床の事例紹介	松田光輝
0:30	講義5：日本の価値を学ぶ-2	外国人に人気の動物・自然、外国人に刺さらない動物・自然など	横山隆一
0:30	講義6：インバウンドならではのリスクマネジメント		古屋絢子
0:30	講義7：インバウンド対応の様々な工夫の紹介		古屋絢子 鳥屋尾健

※動画の URL は参加者に別途お知らせいたします。

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

オンライン集合日(1) 6月29日(月) 9:30~

オリエンテーションや、チームごとに事前課題のプレゼンテーションをしていただきます。チームのメンバーは、原則一つの場所に集合し、1台の機器でご参加いただきます。

時刻	所要時間	科目	内容	担当
9:15	0:15	受付開始		
9:30	0:30	オリエンテーション	主催者あいさつ、講師、各チームからの自己紹介 研修会全体と実施方法の確認	事務局
10:00	1:10	実習1：地域の資源紹介（発表）：前半	資源名・資源概要・外国の方に紹介したい・興味を持ってもらえと思った理由等。講師よりコメント・アドバイス（各地域15分程度を予定）	ファシリテーター 松田光輝 古屋絢子 野口貴裕
11:10	0:10	休憩		
11:20	1:10	実習1：地域の資源紹介（発表）：後半	資源名・資源概要・外国の方に紹介したい・興味を持ってもらえと思った理由等。講師よりコメント・アドバイス（各地域15分×4地域）15分=発表10分 質疑コメント=5分	ファシリテーター 松田光輝 古屋絢子 野口貴裕
12:30	1:00	昼食休憩		
13:30	1:00	講義への質問に対する回答	動画講義に対する質問に講師が回答する	ファシリテーター 講師
14:30	0:15	休憩		
14:45	1:15	参加者同士の交流	ブレイクアウトルーム機能を使って少人数（5~6人程）での対話を行う。	ファシリテーター
16:00	0:15	次回までの課題の確認個別カウンセリングの予約手法の		
16:15		終了		

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

※研修の終了時間は、17:00頃になる場合があります。

自習期間（2） 6月30日(火)～7月2日(木)

動画で自習し、チーム内でプログラム作りを行います。

所要時間	講義	内容	講師
0:30	講義8：ツアープログラムづくりのスキーム		古屋絢子
0:30	講義9：ランドオペレーター・インバウンドエージェントの視点から	実際の商品がどのように作られ、プロモーションされ、お客様がやってくるのか、どんなプログラムにニーズがあるか、実際に誰にどのように売り込めば良いか、地域に期待すること、など	野口貴裕
適宜	実習2：プログラム作り	各チームでプログラムの作成を行い、適宜講師やファシリテーターとスケジュール調整の上、個別アドバイスを行う	参加者

※動画の URL は参加者に別途お知らせいたします。

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

個別カウンセリング期間 7月1日(水)～7月2日(木)

作成したプログラムについて期間内に講師がカウンセリングを行います。

時間の調整は事務局を中心に進めさせていただきます。

オンライン集合日 (2) 7月3日 (金) 10:00~

チームで作成したプログラムを発表し、講師や参加者からフィードバックを行います。

時刻	所要時間	科目	内容	担当
9:45	0:15	受付開始		事務局
10:00	0:15	開会 今日の流れの確認		ファシリテーター
10:15	1:30	実習3：作成したプログラムの発表（前半）	相互評価（講師から&参加者も全員フィードバックを書く） 発表を受けての講師からのコメント 各チーム 20分程度	ファシリテーター 古屋絢子 松田光輝 野口貴裕
11:45	1:00	昼食休憩		
12:45	1:30	実習3：作成したプログラムの発表（後半）	相互評価（講師から&参加者も全員フィードバックを書く） 発表を受けての講師からのコメント 各チーム 20分程度	ファシリテーター 古屋絢子 松田光輝 野口貴裕
14:15	0:10	休憩		
14:25	0:20	実習3：フィードバックを読む &グループ内意見交換	参加地域ごとのブレイク アウトルームを作成	ファシリテーター
14:45	0:30	ふりかえり	参加地域ごとのブレイク アウトルームを作成	ファシリテーター
15:15	0:10	アンケートの記入		ファシリテーター
15:25	0:10	閉講式&事務連絡		ファシリテーター
15:35		終了		

※チームのメンバーは、原則一つの場所に集合し、1台の機器でご参加いただきます。

※講師や内容は都合により変更となる場合があります。

※研修の終了時間は、16:00頃となる場合があります。

3. 参加のための通信環境の設定

YouTube の視聴と zoom を利用できる機器（パソコン、タブレットなど）をご用意ください。オンライン集合日は、有線 LAN や wifi など十分な通信速度が保てる環境でご参加ください。また、機器にはカメラ・マイクを接続して、または内蔵しているものをご用意ください。

※事前に接続の確認を行いたい場合は、お申し込みフォームの要望・質問欄にてお申し出ください。事務局にて対応いたします。

※zoom は、情報処理推進機構「zoom の脆弱性対策について」をご参照し、最新バージョンで参加してください。

<https://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/alert20200403.html>

4. 参加申込について

チームの代表者はチーム内の参加者を取りまとめ、下記の参加申込フォームにご記入の上、送信ください【申し込み締切：2020年6月8日(月)】)

<https://forms.gle/>

5. 連絡先

A コース担当

公益社団法人日本環境教育フォーラム 担当：小堀

〈電話〉 03-5834-2897 〈メール〉 kobori@jeef.

つながらない場合はこちら→携帯 090-7520-..... (小堀携帯)

B コース担当

一般社団法人日本エコツーリズム協会 担当：坪根

〈電話〉 03-5437-3080 〈メール〉 tsubone@ecotourism.

つながらない場合はこちら→090-4956-..... (JES事務局携帯)

※事務局からのご連絡は原則チームの代表者の方にお送りします。各メンバーへのご連絡はチームの代表者からお願いいたします。

6. 事前課題について

研修内で、講師のアドバイス等を交えながらワークショップ形式で、各地域の資源を活かした、外国人観光客向けツアープログラム作成の実習を行います。実習で使用する資料をあらかじめご準備いただくため、そこでチームで話し合い、「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」について、3つ程度の資源を選定し、別添の課題シートにまとめ、各コース事務局までメールにてご提出ください。【提出期限：2020年6月22日(月)】

事前課題

記入例 1

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」シート

地域名 中山道 三留野 かぶと観音

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>かぶと観音</p>
<p>資源の概要</p>	<p>江戸時代中期（貞享・元禄期）の建物で、木曾郡内のお堂では最古級である。平安時代末期に活躍した武将 木曾義仲が北陸に出兵の際、戦勝を祈願し、兜の中に納めていた十一面観音を祀ったお堂として、古くから人々に信仰されている。石の十一面観音菩薩像は兜を抱え、その伝説を象徴している。境内には義仲の腰掛石や巴御前の袖振りの松などもある。なお、同じ敷地内には神社もある。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひとつの敷地内に神道の神社と仏教の寺院が共存する事例は、海外の方にはとても珍しく感じられるから。 ◆女性的で優美な造形の観音菩薩が兜を持っていることが珍しいから。 ◆かぶと観音にまつわる、木曾義仲の伝説を紹介することで、侍の文化や宗教の話題にも展開できるから。
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等（参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います）</p>	<p>http://www.town.nagiso.nagano.jp/kankou/midokoro/nagitsuma/midokoro_17.html https://ameblo.jp/kisomeisui/entry-10453882480.html</p>

事前課題

記入例 2

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート

地域名 八王子市 高尾山

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>高尾山の修験道</p>
<p>資源の概要</p>	<p>高尾山は、真言宗智山派の大本山である「高尾山薬王院有喜寺」を中心とする山岳信仰の霊山として、江戸時代から広く信仰を集めてきました。 修験道の舞台となった山道は、暖帯系の常緑広葉樹林と温帯系の落葉広葉樹林の境目にあたり、とりわけ草木や鳥の種類が豊富です。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<p>「修験道」の歴史的な背景、山岳信仰の根本道場としての寺社仏閣、山伏と天狗伝説等のガイディングやトレッキングなどの自然体験を通して、日本の自然と文化の関わりをお伝えすることができると思いました。 また、修行という行為は、海外においても認知度が高く、また興味を喚起しやすいと考えました。 また、訪日外国人にアピールできる点として、日本の生物多様性のひとつの例として、その植生と生態系の豊かさの縮図を手軽に体感でき、かつ都心からのアクセスも容易であるため、大都市「TOKYO」の違った側面をお楽しみいただけるものと思います。</p>
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)</p>	<p>http://takaosan.or.jp/taiken/hiwatari.html https://mttakaomagazine.com/outline</p>

記入例 3

事前課題

外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート

地域名 ○○町

<p>資源の写真</p>	
<p>資源の名称</p>	<p>田園風景と稲作体験</p>
<p>資源の概要</p>	<p>ごく普通の田んぼですが、ファミリー層をターゲットとした農業体験や自然観察のフィールドとして活用がされています。</p>
<p>「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」</p>	<p>米を主食としない国の方々にとっては、稲作文化自体が珍しいものであると考えられます。 我々日本人にはなじみの深い「田園風景」も水の豊かな日本であるからこそできる農業形態の一つであり、ある一定の層の外国人には興味を喚起する資源の一つではないかと思えます。 大陸から日本列島に稲作が伝わった歴史から、日本人がコメを育てる文化を通して、自然とどのように共存してきたかという大きな視点での解説を通して、知的好奇心が旺盛な層にとっても興味深いツアーが提供できると考えます。</p>
<p>資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)</p>	<p>https://tokyo-satoyama.jp/activity/#craft</p>

事前課題

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート①

地域名

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	

事前課題

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート②

地域名

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	

事前課題

「外国の方に紹介したいと思う資源、外国の方に興味を持ってもらえると思う資源」

シート③

地域名

資源の写真	
資源の名称	
資源の概要	
「外国の方に紹介したいと思った理由」 「外国の方に興味を持ってもらえると思った理由」	
資源についての参考となるWEBサイトのアドレス及び参考資料の説明等 (参考資料が紙の場合は、PDFにして、一緒にお送り願います)	